



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月28日

上場会社名 株式会社ドリームインキュベータ 上場取引所 東  
 コード番号 4310 URL <http://www.dreamincubator.co.jp>  
 代表者 代表取締役会長 堀 紘一  
 問合せ先責任者 マネジャー 近藤 哲平 (TEL)03(5532)3200  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,419	23.6	911	75.3	925	72.2	710	60.8
26年3月期第2四半期	4,385	15.0	519	6.3	537	13.2	441	37.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △308百万円( -%) 26年3月期第2四半期 1,273百万円(311.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	73.80	70.71
26年3月期第2四半期	45.71	43.40

当社は、平成26年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	17,948	13,325	68.5
26年3月期	19,539	14,344	68.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 12,301百万円 26年3月期 13,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	0.00	0.00	0.00	2,600.00	2,600.00
27年3月期	0.00	0.00			
27年3月期(予想)			0.00	—	—

当社は、平成26年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。なお株式分割は平成26年4月1日を効力発生日としておりますので、平成26年3月期の期末配当は、株式分割前の株数を基準に配当を実施いたします。

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期の期末配当予想につきましては、未定としております。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社グループの事業は、コンサルティング事業及びベンチャー投資育成事業から構成されております。コンサルティング事業は安定性が高い一方、ベンチャー投資育成事業の一部については売上高の多くが株式市場における株式売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴って振幅します。従いまして、現時点において業績予想を合理的に行うことが困難であるため、開示を控えさせていただきます。

なお、現時点で将来の業績を予想するのに有用と思われる情報を3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」に記載しておりますので、ご参照下さい。

#### ※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

27年3月期2Q	9,854,100株	26年3月期	9,782,900株
27年3月期2Q	322,100株	26年3月期	—株
27年3月期2Q	9,621,731株	26年3月期2Q	9,660,300株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）1 当社は、平成26年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

2 当社は、当期より「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」を導入しております。BIP信託口及びESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
(4) 生産、受注及び販売の実績	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社及び当社グループの当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は5,419百万円と前年同期に比べ1,034百万円(23.6%)の増収、経常利益は925百万円と前年同期と比べ387百万円(72.2%)の増益、四半期純利益は710百万円と前年同期と比べ268百万円(60.8%)の増益となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントごとの業績は、以下のとおりです。また、第1四半期連結会計期間より、従来の「リバースサプライチェーン事業」から「アセットリクイデーション事業」に事業名称を変更しております。なお、事業名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

## ① コンサルティング事業

コンサルティング事業セグメントにおいては、既存顧客である大企業への継続的な戦略コンサルティング及び海外拠点での戦略コンサルティングが増加したことから、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,216百万円(前年同四半期は1,084百万円)、セグメント利益(営業利益)は419百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)256百万円)となりました。

## ② ベンチャー投資育成事業

ベンチャー投資育成事業は、保険事業、営業投資事業、アセットリクイデーション事業、その他事業の各セグメントにより構成されております。

保険事業セグメントには、連結子会社であるアイペット損害保険株式会社が運営するペット医療向け保険が含まれ、当第2四半期連結累計期間においてペット医療向け保険の加入件数は順調に増加し、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,974百万円(前年同四半期は2,421百万円)、セグメント利益(営業利益)は387百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)173百万円)となりました。

営業投資事業セグメントにおいては、既存投資先ベンチャーに関しては、当社が深く支援することで成長加速が見込まれる先とそれ以外の先について選別し、集中すべき先については資金と人材を投入、それ以外については売却を進めました。また、新規投資活動として、デジタルメディアマーケティングを中心とした国内外のベンチャー企業への投資パイプライン作り及び投資の実行を行いました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は880百万円(前年同四半期は478百万円)、セグメント利益(営業利益)は595百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)323百万円)となりました。なお、当第2四半期連結会計期末時点における保有上場有価証券の含み益は4,112百万円であります。

アセットリクイデーション事業セグメントにおいては、当第2四半期連結累計期間は、事業拡大に向けた成長基盤の構築に注力する先行投資期間と捉え、人員及びシステム等への投資を行うとともに、ヤフー株式会社が提供するヤフオク!出品者向けBtoB仕入れモールのサービス開始に向けた投資を行ないました。また、佐川急便株式会社と業務提携契約を締結すると同時に、業界初、静脈物流まで包括的に担うワンストップ型のサービス開始に向けた準備を行いました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は312百万円(前年同四半期は375百万円)、セグメント損失(営業損失)は182百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)6百万円)となりました。

その他事業セグメントには、知的財産権への投資事業、ベトナムにおけるマーケティング事業及びコンテンツマネジメント事業が含まれており、当第2四半期連結累計期間の売上高は34百万円(前年同四半期は24百万円)、セグメント損失(営業損失)は20百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)3百万円)となりました。

以上の当社及び当社グループの売上をまとめると以下のとおりです。

区分	第14期 第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		第15期 第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
コンサルティング事業	1,084	24.8	1,216	22.5
保険事業	2,421	55.2	2,974	54.9
営業投資事業	478	10.9	880	16.3
アセットリクイデーション事業	375	8.6	312	5.8
その他事業	24	0.6	34	0.6
合計	4,385	100.0	5,419	100.0

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①連結貸借対照表

当第2四半期連結会計期末における資産は17,948百万円(前期末比1,590百万円減)、負債は4,622百万円(同572百万円減)、純資産は13,325百万円(同1,018百万円減)となっております。

前連結会計年度末比での資産の減少の主な理由は、ESOP信託口による当社株式の取得により現金及び預金が減少したこと、投資先ベンチャー株式の売却及び上場投資先ベンチャーの株式の時価の下落により営業投資有価証券が減少したことなどが挙げられます。

負債減少の主な理由は、投資先ベンチャー株式の売却及び上場投資先ベンチャーの株式の時価の下落により繰延税金負債が減少したためであります。

また、純資産減少の主な理由は、ESOP信託口による当社株式の取得により自己株式が増加したこと、投資先ベンチャー株式の売却及び上場投資先ベンチャーの株式の時価の下落によりその他有価証券評価差額金が減少したためであります。

### ②連結キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期連結会計期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して660百万円減少し、2,892百万円となりました。これを活動別に記載しますと、以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、730百万円の増加になりました。これは主に、保険事業に係る収入の増加並びに営業投資有価証券の売却による増加であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、688百万円の減少になりました。これは主に、定期預金の預入及び保険業法第113条繰延資産に該当する費用の支払によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、723百万円の減少になりました。これは主に、配当金の支払及びESOP信託口による当社株式の取得によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

### ①コンサルティング事業

既存顧客への戦略コンサルティングや産業プロデュースに引き続き注力しつつ、海外事業展開を加速すること、前連結会計年度に対して15%程度の売上高成長率を見込んでおります。

### ②ベンチャー投資育成事業

保険事業セグメント売上は、当第2四半期連結累計期間において順調に推移しており、通期では前連結会計年度に対して20%程度の売上高成長率を見込んでおります。

アセットリクイデーション事業セグメントにおいては、事業拡大に向けた成長基盤の構築のための先行投資を行っており、通期での黒字化は来期以降を見込んでおります。

その他事業セグメントにおいては、日本知財ファンド1号投資事業有限責任組合の保有する知的財産権運用からの利益拡大を見込む一方で、ベトナムにおけるマーケティング事業の立上げに伴い先行的費用が発生することを見込んでおります。

営業投資事業セグメントにつきましては、投資先ベンチャーの内、上場会社5社やIPO準備中の会社が数社ございますが、売上高が株式の売却によってもたらされることから、株式市況やIPO動向に伴い振幅するため、業績の見通しは立てにくい状況が続くものと考えております。

## (4) 生産、受注及び販売の実績

## ①生産実績

当社及び当社グループは生産活動を行っておりませんので、該当事項はありません。

## ②受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績は次のとおりであります。

なお、営業投資事業につきましては、受注という概念がございませんので記載しておりません。

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	前年同四半期比 (%)
	金額(百万円)	金額(百万円)	
コンサルティング事業	1,038	1,368	31.7
保険事業	2,421	2,974	22.8
アセットリクイデーション事業	375	362	△3.4
その他事業	24	34	39.6
合計	3,860	4,739	22.8

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	
	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
コンサルティング事業	1,216	12.2
保険事業	2,974	22.8
営業投資事業	880	84.0
アセットリクイデーション事業	312	△16.6
その他事業	34	39.6
合計	5,419	23.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## ④投資実績

証券種類	前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)				当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)			
	投資実行高		期末投資残高		投資実行高		期末投資残高	
	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)	金額 (百万円)	会社数 (社)
株式・出資金	413	6	2,399	36	371	4	2,555	36
新株予約権等	—	1	0	20	—	—	0	19
合計	413	6	2,399	45	371	4	2,555	45

(注) 1 新株予約権等は、当社コンサルティングサービスの対価として発行会社から無償で取得している場合がありますが、上表においては、その際の金額をゼロとし会社数のみを記載しております。

2 株式、新株予約権等を重複して投資を行っている会社があります。

3 時価のあるものについては、取得原価を記載しております。

4 上表には余剰資金の運用目的の有価証券及び投資有価証券は含まれておりません。

5 当社グループは、未公開時点では投資をしていなかったPost-IPO企業の株式をIPO後に取得する場合がありますが、上表には当該投資金額及び会社数は含まれておりません。

6 期末において保有している新株予約権等を全て行使した場合の株式取得価額の総額は、以下のとおりであります。

前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間
599百万円	596百万円

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,535	5,078
受取手形及び売掛金	1,265	1,390
営業投資有価証券	8,788	7,413
投資損失引当金	△118	△118
有価証券	20	20
たな卸資産	92	87
繰延税金資産	357	323
その他	416	382
貸倒引当金	△35	△18
流動資産合計	16,322	14,558
固定資産		
有形固定資産	180	170
無形固定資産		
のれん	847	784
その他	438	428
無形固定資産合計	1,286	1,213
投資その他の資産		
投資有価証券	10	5
長期貸付金	128	262
その他	304	297
貸倒引当金	△58	△57
投資その他の資産合計	385	507
固定資産合計	1,851	1,891
繰延資産		
保険業法第113条繰延資産	1,365	1,498
繰延資産合計	1,365	1,498
資産合計	19,539	17,948
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	29	31
リース債務	1	1
未払金	199	109
保険契約準備金	2,399	2,514
支払備金	268	339
責任準備金	2,130	2,175
未払法人税等	139	97
繰延税金負債	1,969	1,337
賞与引当金	95	47
役員賞与引当金	20	10
その他	172	258
流動負債合計	5,026	4,410
固定負債		
リース債務	4	3
繰延税金負債	164	206
株式給付引当金	-	2

固定負債合計	168	212
負債合計	5,195	4,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,704	4,735
資本剰余金	3,520	3,552
利益剰余金	1,430	1,885
自己株式	-	△499
株主資本合計	9,655	9,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,773	2,692
為替換算調整勘定	△75	△65
その他の包括利益累計額合計	3,697	2,627
新株予約権	186	180
少数株主持分	804	844
純資産合計	14,344	13,325
負債純資産合計	19,539	17,948

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,385	5,419
売上原価	2,263	2,267
売上総利益	2,121	3,151
販売費及び一般管理費	1,601	2,240
営業利益	519	911
営業外収益		
為替差益	7	8
その他	11	8
営業外収益合計	19	16
営業外費用		
支払利息	1	1
出資持分損失	-	1
その他	0	0
営業外費用合計	1	2
経常利益	537	925
特別利益		
新株予約権戻入益	-	1
特別利益合計	-	1
税金等調整前四半期純利益	537	926
法人税、住民税及び事業税	75	88
法人税等調整額	△26	76
法人税等合計	49	165
少数株主損益調整前四半期純利益	488	761
少数株主利益	46	51
四半期純利益	441	710

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	488	761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	783	△1,080
為替換算調整勘定	1	10
その他の包括利益合計	785	△1,070
四半期包括利益	1,273	△308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,226	△360
少数株主に係る四半期包括利益	46	51

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	537	926
減価償却費	62	57
のれん償却額	63	63
保険業法第113条繰延資産償却費	134	172
支払備金の増減額(△は減少)	52	70
責任準備金の増減額(△は減少)	295	44
賞与引当金の増減額(△は減少)	△30	△47
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13	△9
株式給付引当金の増減額(△は減少)	-	2
株式報酬費用	34	15
支払利息	1	1
為替差損益(△は益)	△7	△8
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	345	△336
売上債権の増減額(△は増加)	△438	△119
たな卸資産の増減額(△は増加)	△46	4
仕入債務の増減額(△は減少)	29	1
未払金の増減額(△は減少)	1	△94
その他	35	94
小計	1,056	840
利息及び配当金の受取額	2	3
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△59	△112
営業活動によるキャッシュ・フロー	998	730
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,380	△2,186
定期預金の払戻による収入	1,072	1,985
有形固定資産の取得による支出	△28	△15
無形固定資産の取得による支出	△7	△19
関係会社株式の取得による支出	△24	-
敷金及び保証金の差入による支出	△41	△8
貸付けによる支出	△45	△150
保険業法第113条繰延資産の増加額	△266	△306
その他	14	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△706	△688
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	23	42
配当金の支払額	△199	△252
投資事業組合等における少数株主への分配金支払額	△13	△12
自己株式の取得による支出	-	△499
その他	0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189	△723
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	118	△660
現金及び現金同等物の期首残高	3,497	3,553
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,616	2,892

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月13日 取締役会	普通株式	202	2,100	平成25年3月31日	平成25年6月17日	資本剰余金

## 2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年6月13日開催の第13回定時株主総会決議に基づき、資本準備金の額3,516百万円を減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、その他資本剰余金のうち1,161百万円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損の填補を行いました。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月12日 取締役会	普通株式	254	2,600	平成26年3月31日	平成26年6月13日	利益剰余金

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	コンサル テイング 事業	保険事業	営業投資 事業	アセット リクイデ ーション 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,084	2,421	478	375	4,360	24	4,385	—	4,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,084	2,421	478	375	4,360	24	4,385	—	4,385
セグメント利益又は 損失(△)	256	173	323	6	759	△3	755	△236	519

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△236百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社での一般管理費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	コンサル テイング 事業	保険事業	営業投資 事業	アセット リクイデ ーション 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,216	2,974	880	312	5,384	34	5,419	—	5,419
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,216	2,974	880	312	5,384	34	5,419	—	5,419
セグメント利益又は 損失(△)	419	387	595	△182	1,219	△20	1,198	△287	911

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△287百万円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社での一般管理費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、量的重要性が増加したことに伴い、前連結会計年度まで「その他」に含めていた「アセットリクイデーション事業」を報告セグメントとしています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。